

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成30年3月15日

計画の名称	1 横須賀港における安全・安心対策に係る港湾・海岸の整備（防災・安全）										重点配分対象の該当	—							
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）					交付対象	横須賀市												
計画の目標	台風や低気圧等に伴う、高潮（越波、浸水）等への対策、砂浜の侵食（護岸崩壊、越波）対策として、海岸保全施設を整備し、人命・財産を防護する。 また、既存施設の適切な維持管理等を行い、背後地の安全性、船舶係留や荷役作業の安全性の確保を図る。																		
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水想定区域面積を15.6ha（想定区域内人口933人）（H27）から0ha（H31）へ減少させる。 ・横須賀港において長寿命化計画を策定すべき全ての海岸保全施設の長寿命化計画を策定する。 ・老朽化する港湾施設の改良、改修を図ることにより、港湾利用者に安全な施設を提供する。 																		
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値		備考						
											当初現況値	中間目標値		最終目標値					
											(H27当初)	(H29末)		(H31末)					
1. 浸水想定区域面積／人口											15.6ha／933人	—		0ha／0人					
2. 海岸保全施設の長寿命化計画策定率 （長寿命化計画が策定された地区海岸数／長寿命化計画を策定すべき地区海岸数）											0%	—	100%						
3. 老朽化施設の改良率（老朽化した施設の早期に改良が必要な部位についての整備率） （改良完了施設数／早期改良が必要な施設数）											24%	—	42%						
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	3,588 百万円	A	3,409 百万円	B	0 百万円	C	179 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C+D)	5.0%							
交付対象事業																			
A1 海岸事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計 画 策定状況	備考	
										H27	H28	H29	H30	H31					
1-A1-1	海岸	内地	横須賀市	直接	—	高潮	横須賀港海岸	護岸 L=517m	横須賀市						995	—	—	H26以前：A-1	
1-A1-2	海岸	内地	横須賀市	直接	—	侵食	横須賀港海岸	突堤1基、離岸堤2基	横須賀市						2,034	—	—	H26以前：A-7	
1-A1-3	海岸	内地	横須賀市	直接	—	老朽化	長寿命化計画策定	海岸保全施設8地区海岸	横須賀市						80	—	—	H26以前：A-2	
小計（海岸事業）												3,109							
A2 港湾事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	港湾 種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計 画 策定状況	備考
											H27	H28	H29	H30	H31				
1-A2-3	港湾	内地	横須賀市	直接	—	重要	改良	新港棧橋	水深 D=-5.5～7.5m、延長 L=310m	横須賀港・新港地区					195	—	策定済		
1-A2-4	港湾	内地	横須賀市	直接	—	重要	改良	新港岸壁	水深 D=-10m、延長 L=400m	横須賀港・新港地区					105	—	策定済	新規	
小計（港湾事業）												300							
合計												3,409							
C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考			
										H27	H28	H29	H30	H31					
1-C-1	施設整備	一般	横須賀市	直接	—	飛沫防止帯整備	大津地区飛沫防止帯整備	飛沫防止帯 L=517m	横須賀市						129				
1-C-2	計画・調査	一般	横須賀市	直接	—	調査	野比地区汀線変化モニタリング調査	汀線等のモニタリング調査	横須賀市						50	H26以前：1-C-1			
合計												179							
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考							
1-C-1	植樹帯等を整備することで、高潮時における背後地の道路等への飛沫被害の軽減効果が期待できる。																		
1-C-2	汀線変化等についてモニタリング調査を実施し、施設整備中の侵食・堆砂の状況を把握することで、柔軟的な整備計画の見直しを図れコスト削減効果や整備順序の変更による背後地の被害軽減効果が発揮される。																		

交付金の執行状況

(単位:百万円)

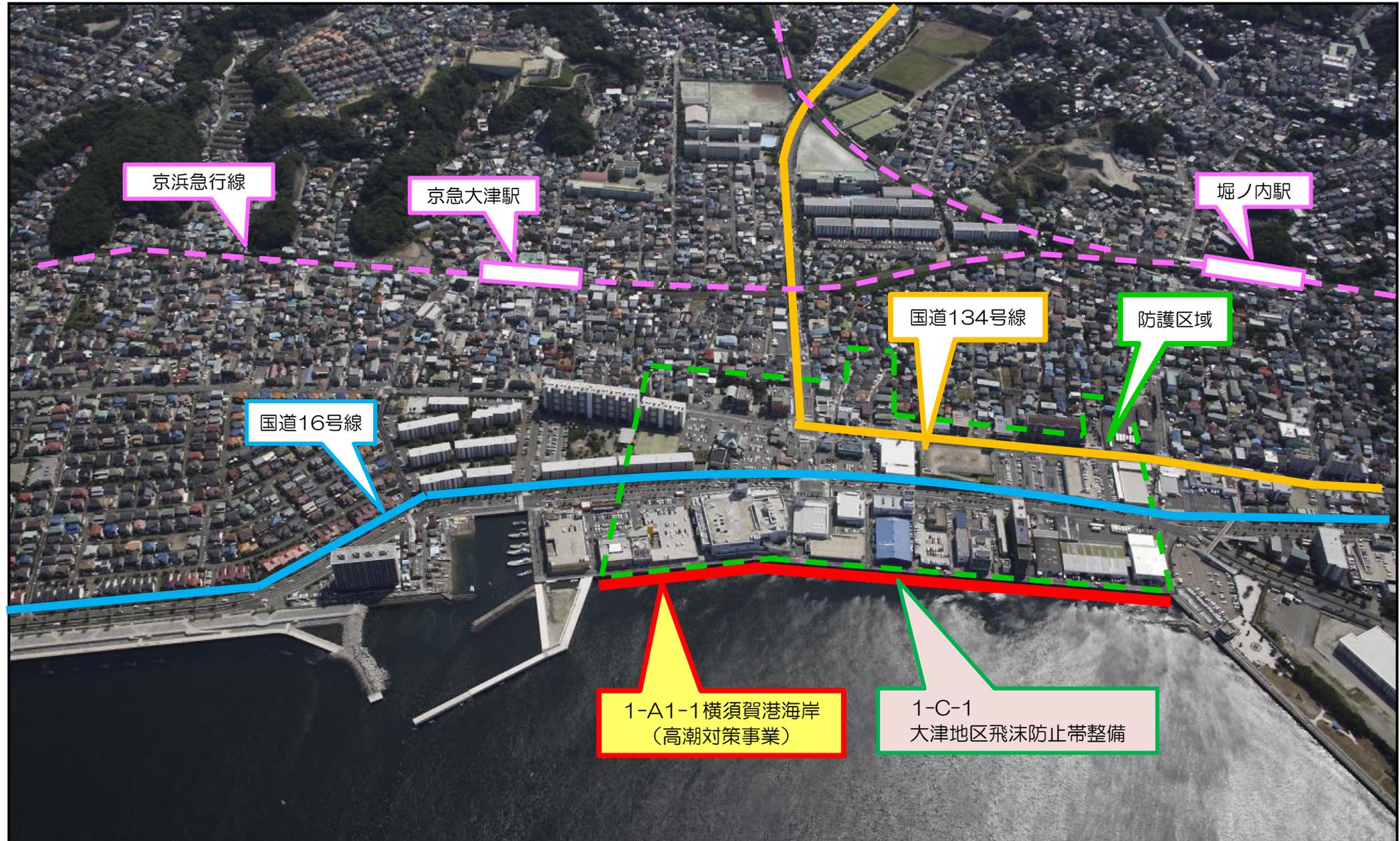
	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	202	191	206		
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	202	191	206		
前年度からの繰越額 (d)	90	46	62		
支払済額 (e)	245	175	224		
翌年度繰越額 (f)	46	62	10		
うち未契約繰越額 (g)	5	21	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	1.7%	8.9%	3.9%		
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

※ 平成28年度は、決算額が確定でき次第記載。

(様式3) 海岸事業

計画の名称	1 横須賀港における安全・安心対策に係る港湾・海岸の整備 (防災・安全)	交付対象	横須賀市
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)		



(様式3) 海岸事業



(様式3) 港湾事業



(様式3) 港湾事業

計画の名称	1 横須賀港における安全・安心対策に係る港湾・海岸の整備 (防災・安全)	交付対象	横須賀市
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)		

